平成12年3月
創刊号

自治連だより

発行　八千代市自治会連合会
代表者　山嵜英美
事務局　八千代市大和田新田312－5
八千代市役所市民参加推進課内
047(483)1151㈹

「自治連だより」発刊のことば

八千代市自治会連合会会長　山嵜英美

八千代市自治会連合会は、旧農村部の「区」や市街地の町内会、自治会等合計213の組織を統合している団体です。

自治会は、地域の生活環境を保全し、住みよい地域社会をつくるために日常的に役割を果たすことが期待される組織です。家族を中心とした世帯が人間生活の基本ですが、社会生活を営むためには近隣の協力は必要不可欠といえます。

同じように、一つ一つの自治会も、単独で活動するよりは自治会同志が情報を提供し合い、相互に協力することによって解決される問題も多くあります。そのような観点で連合会が組織され、活動しているのですが必ずしも充分な成果を挙げているとはいえません。

連合会の活動を含め、自治会活動をより一層活性化するための方策として、本年度から阿蘇地区、睦地区、大和田地区、八千代台地区、勝田台地区の5地区でそれぞれの地区自治会連絡会を開き、地区毎の自治会の情報交換を密にすることにしました。これにより自治会相互の助け合いや、協力しての問題解決へ一歩前進したいと考えています。

あと一つは、「自治会連合会だより」の発行です。連合会の活動を皆様にお知らせし、一人ひとりの市民の皆様が、地域との関わり方を考えていただく資料として提供したいと思っています。

自治会活動の中には市行政の下請け的な要素もありますが、私たち自身の身近な問題を私たち自身の努力や隣人との協力で実現させていくための権利の行使が最も大切なものと考えています。

皆様のご理解とご支援をお願いして、発刊のことばといたします。

「自治連だより」の発刊に期待します

八千代市長　大澤一治

自治会連合会の機関紙「自治連だより」が発刊されますことを、心よりお祝い申し上げます。

都市生活の良さの一つと言われるお互いを干渉しない気楽さ、匿名性が、価値観の多様化や経済的豊かさと合まって、今日、地域社会や近隣への無関心者を増加させています。また、インターネットに代表されるような高度情報化の進展は、一方では人と人、地域と人々との接触も希薄化させる可能性があると言われています。

このような中、住民の交流や住み良い地域にしていこうと自主的に組織化された地縁団体である自治会等は、住民一人ひとりの多様な考えや生活を尊重しながらも、心の交流を通した温かい地域作りや地域における課題解決に取り組んでおり、その役割と活動には大きな期待をしています。

この度の「自治連だより」の発刊は、日頃の自治会活動の現状をより多くの市民にご理解いただく上で、また、活動の活性化とコミュニティの形成を図る上でも大変意義深いものと考えております。

発刊にご尽力された自治連役員の皆様には心より敬意を表しますとともに、本紙が市民に親しまれ、益々発展していくことを希望しております。

校区毎に連合会を

＝手を結ぶ自治会＝

清水市の自治会活動に学ぶ

▲清水市での研修会

平成11年度の、八千代市自治会連合会の研修会は、静岡県清水市で行われました。研修目的は清水市自治会連合会の「地区連合自治会」の活動です。

11月1日午前8時市役所をバスで出発。参加者は各自治会から30名、事務局担当の市職員3名の合計33名でした。東名高速を走り、沼津を抜けたところで豪雨に見舞れたのですが、無事清水市に到着し、市役所会議室での研修会に臨みました。

研修会では清水市の「地区連合自治会」について活発な話し合いが行われました。

清水市の単位自治会は265、これを中学校区（小学校区単位もある）単位の19地区に分けて、地区連合自治会を組織し、地区毎に1名の代表を選出し、清水市自治会連合会の常任委員として、市全体の自治会活動の運営に当っている、とのことでした。

自治会活動は非常に地域性の強いもので、地域が中心なのですが、265の自治会がそれぞれ単独での活動には限界があります。近隣の自治会同志が協力すれば解決できる問題も多いので、中学校（小学校）の通学区域内の自治会（10～20）をまとめる形の「地区連合自治会」活動が活発に行われていました。

その他、清水市の自治会活動としては、①総会の時に記念講演を実施 ②視察研修は5月と12月の年2回 ③対市要望は連合会でまとめている ④自治会連合会会報を発行 ⑤地区連合自治会長が地区社会福祉協議会長を兼ねる ⑥事務局に市職員2名と専任事務職員1名を置いている等がありました。

夜、八千代から駆けつけた大澤市長と服部議長を加えての懇親会がありました。

八千代市自治会連合会役員

職名	氏名	自治会名
会長	山嵜　英美	八千代台自治会
副会長	青木　幹	萱田町区
〃	白井　四郎	桑橋区
〃	大滝辰次郎	黒沢台自治会
〃	山口　勇	八千代台東町会
〃	武田　昭重	八勝園自治会
幹事	山田　義雄	小板橋東町会
〃	岩井　治郎	高津自治会
〃	横山　博美	大和田新田下区
〃	齋藤　栄治	島田台区
〃	加藤　史朗	米本団地自治会
〃	恵　新治郎	栄町会
〃	手塚　宏昭	八千代台南町会
〃	宮澤　宏之	八千代台南自治会
〃	須藤　年雄	勝田台7丁目自治会
会計	海老原利子	勝田台サンコーポ自治会
監事	石川眞次郎	仲木戸自治会
〃	杉山　義雄	台町自治会

（題字：岩波白鵬）

市に要望書を提出

補助金カットの復元を要請

要望書

自治連では役員会において平成11年度の市への要望を来年度予算編成に際し行うことを決定し以下の要望をまとめました。なお要望書は会長・副会長6名で昨年の10月4日に市長室を訪れ、市長に直接提出しました。

1、市民組織補助金の補助額を平成9年度の水準に戻すこと

2、防犯灯設置及び維持管理事業補助金のうち防犯灯設置事業費に対する補助限度額を平成9年度の水準に戻すこと

復元は難しい ―大澤市長

長期にわたる景気の低迷で、市財政は市税収入の落ち込みなど厳しい状況にあり、平成10年度からは各種助成団体の皆様にも補助金の見直しについてご理解とご協力を頂いております。

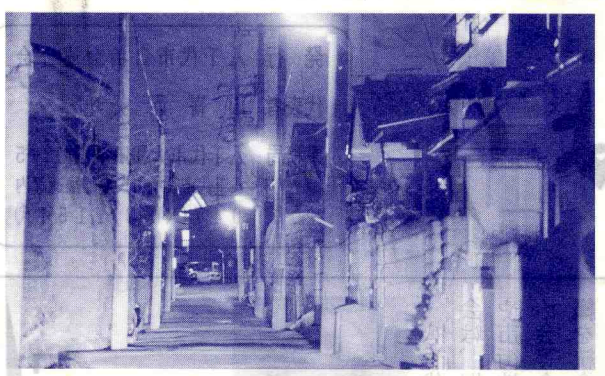
市では職員の減員や特別職・管理職の手当てカット、昇給延伸等による人件費抑制の他、積極的に事務事業の見直しを図るなど、鋭意、内部努力を続けております。

この難局を市民の皆様と一緒に乗り越え、時代の変革に対応した市政運営と総体的な市民サービスの向上を目指してまいる所存です。何卒、ご理解を賜りますようお願い致します。

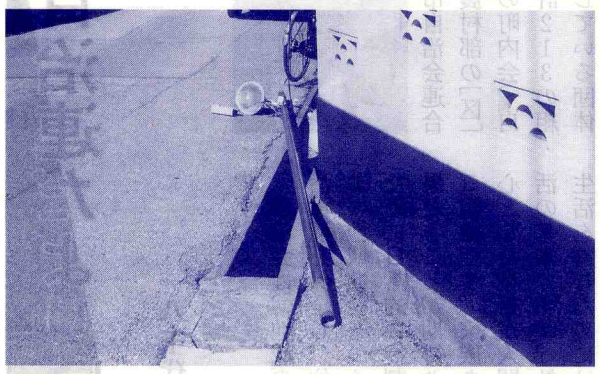
防犯灯保険に一括加入を推進

現在、市内には各自治会で設置・管理をしております防犯灯が約1万5百灯程あります。その中には設置からかなりの年数を経過しているものも多くなっています。日頃より、各自治会においては点検等を実施し適正な管理を行っているものと思います。それにもかかわらず、万が一の事故の発生の危険性は避けられないものであり、それにより第三者に損害を与えた場合には、所有者であります自治会に損害賠償の責任が発生します。

そこで、各自治会で所有されております防犯灯による事故が発生した時の自治会負担を軽減し、自治会活動に支障が生じないよう、平成12年度より自治会連合会にて、市の助成を受け防犯灯保険への一括加入を推進していきたいと考えておりますので、各単位自治会のご理解とご協力をお願い致します。



▲市民生活を守る防犯灯



▲防犯灯が倒れると重大事故につながることもあります。

●防犯灯保険の概要

保険加入者	八千代市自治会連合会	
被保険者	防犯灯所有自治会	
保険金額	対人賠償	1名 6,000万円
		1事故 2億円
	対物賠償	1事故 500万円
	自己負担	対人・対物とも1事故につき1万円

地区自治会連絡会の動き

大和田地区

平成11年9月25日、レストランカウベルで青木自治連副会長が議長となり、29自治会の参加により以下の事項を決定した。

①地区運営会議助成要領についての説明をし、要領の趣旨の理解をはかり、地区内の連絡協調と親睦を深めることを確認した。

②当面の自治会活動・今後の地区運営の協議をし、次のとおり対応することを確認した。

▽国道296の渋滞緩和措置について（当局に対する要望事項として処理）

▽駐車違反の取り締まりについて（防犯・警察との連携による対応）

▽防犯灯の新設・維持管理の助成金について（事例報告により相互の理解を図った）

▽歩道の雑草処理について（地主への連絡・自治会活動での処理が適当とした）

阿蘇地区

1月30日に開催された地区会議では、次の件について意見交換を行った。①勝田台駅北口への交番設置について―市役所及び県警察へ粘り強く要望を継続することとする。②小学校児童等の非常時における「子供110番」協力店及び一般家庭の協力方について―今後協力店及び協力家庭を増やしていく方針で検討する。③ダイオキシン問題について―当地区の立地条件に鑑み周辺地域も含めてダイオキシンの測定の強化や健康問題についての相談等の実施を市へ要望していく。

睦地区

本年度内に、睦地区自治会の地区会議を開き、共通の問題を検討する予定である。

八千代台地区

▼八千代台南京成ガードの拡幅等9項目を市へ要望、市長対話を開催!!

八千代台地区では昨年度2回の会議を開き、八千代台地区自治会連絡会と会の名称を定め、市への要望や自治連の幹事の選出など独自の活動を行ってきた。本年度については自治連の正式事業化にともない平成11年度第1回目の連絡会を7月5日に開き八千代台地区にかかわる9項目の要望をまとめ市へ提出した。さらに第2回目の連絡会を1月17日に開き、大澤市長を招き要望に対する市側の回答と質疑を行った。本年度はさらにもう1回の連絡会を開き、来年度の自治連幹事の選出等を審議する予定。

勝田台地区

8月8日に15自治会参加の下に、自治連役員会の報告（地区連絡会と助成制度、視察研修）と今後の地区活動の進め方についての意見交換を行った。また、勝田台夏祭りに対する具体的な協力、分担について決定した。

2月11日、第3回地区連絡会を15自治会参加により開催し、次の事項を決定した。

①市主催敬老会は、地域の活性化を促進し、地域の特性を生かした敬老事業とするために各地域毎に実施する方向を了承された。

②自治連だより、社福勝田台支会だよりの配付について了承された。

③勝田台青少年健全育成協議会よりの子供110番看板作成の協力要請を了承した。

自治連に協力依頼

平成13年度を目標

例年10月に市民会館で、市主催の敬老会が実施されています。11年度は三浦洸一、10年度は青山和子を招いての歌謡ショーが中心でした。70才以上の高齢者の方が対象です。

この敬老会について、市側から「市主催の敬老会を地域に移す方向で検討して欲しい」との提案が関係団体にありました。

自治会連合会では、1月28日の役員会でこの提案を審議しました。その結果

①実施する場合の主体は、各地域に組織されている地区社協（社会福祉協議会支会）になる。現在ある17支会（準備中2支会）が実施することになれば、その方向で自治会連合会も協力体制をつくりたい。

②平成12年度は従来の方式とし、地域で実施する場合の問題点を明確にし、その克服について努力する。

③実施する場合、現在の予算を削減しないことを原則とする。

の3点を基本として敬老会を地域毎に実施する方向を了承することになりました。

現在実施されている市主催の敬老会が地域毎に催されることになれば、参加者が増加するだろう、と予測されること、実施主体になる地区社協（支会）の活性化につながることが考えられます。しかし、その反面、有名タレントが来るから参加するのだとの声や、地域毎のバラつきや負担増も考えられるので、これらの問題解決のための努力が必要となります。

市主催 敬老会を地区社協(支会)に

編集後記

はじめての自治連だより発刊にあたり、山田、加藤、齋藤、須藤の各地区幹事と、会長および山口を加えて編集委員会を組織した。皆さんのご批判をいただき、次号よりさらなる充実を図りたい。

（山口）